

福生市議会だより

FUSSA

No.182

発行 福生市議会
平成24年1月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成23年 第4回定例会



▲市民に開かれた分かりやすい議会を目指します

平成23年第4回定例会は、11月29日から12月16日まで会期18日間で開催され、19人の議員による一般質問が行われ、条例の一部改正など市長提出議案8件、委員会提出議案2件、陳情3件などが審議されました。

本会議の経過

▼1日目(29日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。職員給与の減額分を期末手当で調整するため

「地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書」「サイバー攻撃、情報保全対策に関する意見書」を可決しました

その基準日が12月1日であることから、福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部改正議案1件が可決された後、5人の議員が、平成24年度の予算編成について、商業振興策について、地域雇用対策と就労支援について、学校教育について、人口誘導のまちづくりについてなどの一般質問を行いました。

▼2日目(30日)は、7人の議員が、シティセーブルスについて、歴史・公民の福生市公立中学校教科用図書選定、採択について、選ばれ続けるまちについて、苦情対応について、新年度予算編成等について、保育行政について、防災対策についてなどの一般質問を行いました。

▼3日目(1日)は、5人の議員が、東日本震災時の原発事故後の放射能情報について、交通安全について、放射線対策について、女性の視点からの防災について、都市基盤整備についてなどの一般質問を行いました。

▼4日目(2日)は、2人の議員が、米軍横田基地について、各種予防ワクチン任意接種費用の助成についてなどの一般質問を行いました。

その後、各議案が所管の委員会に付託され、新たに提出された陳情書3件は、建設環境委員会及び市民厚生委員会に付託され、審査されることになりました。

委員会提出議案第4号 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書(要約)

現在、国による地方消費者行政の充実が検討されているが、他方で地域主権改革の議論が進む中で、地方消費者行政に対する国の役割・責任が不明確となる懸念がある。

国は地方消費者行政充実のために、継続的かつ実効的な財政支援を行うべきである。

よって、福生市議会は、国会及び政府に対し、地方消費者行政の支援について次の事項を要請する。

- 1 国は、地方自治体の消費者行政の充実が確実に進捗するよう、地方消費者行政活性化基金等の延長も視野に入れつつ、一定の幅を持たせながらも、使途を消費者行政と明示した継続的かつ実効的な財政支援を行うこと。
- 2 すべての地方自治体が、身近で専門性の高い消費生活相談窓口を消費者に提供するという観点から、国は、あるべき相談窓口の姿について一定の目安を提示するとともに、これを単独で実現することが困難な小規模自治体も多数存在することから、都道府県と市町村とが広域的に連携して相談窓口を設置する方策など、地方自治体にとって利用しやすい制度枠組みを提示すること。
- 3 消費者が安心して相談できる消費生活相談窓口の充実・強化を図るため、相談を担う専門家である消費生活相談員を含め、常勤はもろろん非常勤の立場であっても、専門性に見合った待遇のもとで安定して勤務できる専門職任用制度の整備を行うこと。

また、新たに提出された陳情書2件と継続となっていた陳情書1件については、更に継続となり、今定例会の全議事を終了しました。

委員会提出議案第5号 サイバー攻撃、情報保全対策に関する意見書(要約)

衆議院や参議院、政府機関を狙ったサイバー攻撃が明らかに増え、サイバー攻撃に対する国民の不安はこれまで以上に高まっている。

11月14日には、衆議院に対するサイバー攻撃により衆議院と秘書全員分を含むID・パスワード2676件が盗まれたと報道があり、攻撃者IDから、海外からの攻撃が判明している。

我が国の重要な情報がサイバー攻撃で海外に流出することは、国益に大きなマイナス影響であり、政府は全力でサイバー攻撃に対する情報保全対策を構築することは、喫緊の責務である。

- 1 国家としての安全保障の観点から、情報保全の基本戦略を早急に構築すること。
- 2 防衛省は、我が国の防衛調達に關する情報管理、保秘体制を一層強化すること。
- 3 政府は重要な社会基盤に対するサイバー攻撃の可能性を評価・検証し、地方自治体に対するサイバー攻撃対策についても、早急に戦略を構築すること。
- 4 民間の優れた人材の技術を活用し、官民一体となった情報保全対策を構築すること。

【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、国家公安委員長、総務大臣、経済産業大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長

| ● 主な内容 ● | |
|----------|------|
| 可決された案件 | 2面 |
| 議会日誌 | 2面 |
| 一般質問 | 3~6面 |
| 委員会の審査 | 7面 |
| 行政視察報告 | 8面 |
| 特別委員会活動 | 8面 |

中学校給食の実施で、市税の恩恵を全ての生徒に 池田 公三 議員

質問 中学校の昼食対策としてランチ・弁当併用方式を実施しているが、市税の使い方の公平性という観点からすると問題がある。市は3700万円の予算を使って、中学校ランチを民間委託で実施しているが、利用率は25%あり、弁当持参の75%の生徒は市税の恩恵を受けていない。市税の使い方として不公平ではないか。

教育長 必要があるときは誰でも利用できる訳であり、特定の人に限

定しているものではないので、市税の使い方において不公平が生じているとは考えていない。



▲第一中学校ランチルーム

一般質問(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、19人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページまでに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館または、福生市ホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

狭あい道路の拡幅整備について

乙津 豊彦 議員

質問 総合計画第4期で、道路網の整備充実に沿線住民の協力と参画により狭あい道路の拡幅を進める。また、建築確認申請と連動し進めるとあるが、具体的に伺いたい。

市長 整備要綱を制定し促進しており、制定時には申請事務を行っている都に、狭あい道路の建築確認申請案件の情報提供依頼をし、連携をして進めてきた。具体的には、地権者からの買い取りや地元住民からの拡幅要望、市は整備の緊急性等を考慮し、スポット

的整備等、毎年予算の範囲内で順次行って、狭あい道路解消と生活環境向上を図っている。



▲整備された狭あい道路

自衛隊員の市のイベントへの参加協力は考えているか

串田 金八 議員

質問 24年4月から航空自衛隊横田基地が始動すると聞いている。血気盛んな自衛隊の若者を、地域との交流を図るためにも、各イベントへの参加協力について考えていないか。

市長 府中基地では市民交流のため自衛隊主催で盆踊り大会等は行っているが、自衛隊が地域イベントへ公式に参加することはないとのこと。ただし隊員が個人的に、休暇をとり、みこしを担いだりすることはあることである。移駐後は航空自衛

隊横田基地協力が中心に対応がなされると思うが、市としてもイベントなどへのPRの必要はあると考える。



▲横田基地第5ゲート付近

シティセールスの推進・現在の取り組み状況と目指すべき方向は

武藤 政義 議員

質問 市の魅力を発掘・創出し、広く情報発信するため地域振興課をシティセールス推進課に変更し、積極的に推進していくとのことだが、取り組み状況と目指すべき方向は。

市長 市内施設を利用したテレビドラマや映画撮影の支援、電気自動車や電動自転車を活用した次世代モビリティ活用モデル事業など市の魅力の再発見や創造、発信し、都市イメージを向上させるために組織体制の強化を図っている。目指すべき方

向を「訪れたいまち、住みたいまち、自慢したいまち」と設定してまちづくりを進めていきたい。



▲電気自動車

地域産業振興条例制定で商店会加入促進を

町田 成司 議員

質問 地域の商工会等団体に加入しないコンビニや大型店等は、イベント等の費用負担もなく恩恵だけ得ている。また、商店会未加入企業を対象に、加入促進や環境整備等応分の負担を求める努力規定条例設定をした自治体があるが、どう考えるか。

市長 日本国憲法では自由が保障されている。商店会への加入を個人、事業者に義務的に求めるのはいかなるものか。加入するメリット等の団体としての努力がまず必要と考え、

その支援策の取り組みはしている。現状、義務を課す条例の制定については慎重であるべきと考えている。



▲銀座商栄会

歴史・公民の教科用図書選定・採択における調査委員会の状況は

末次 和夫 議員

質問 教科用図書調査委員の構成は。また、調査報告書の「近現代、世界史の充実がポイント」との所見は全国共通の基準なのか。評価基準における「地域性への配慮」という項目の具体的な内容は。

教育長 調査委員長は校長または副校長の職にある者、委員は各中学校校長の推薦した教員である。今回の学習指導要領改訂で「近現代の学習の一層の重視」が要点となり、全国的な規準と考えている。「地域性の

配慮」は現代社会のキーワードと関連する地域的なバランス等について検討したものである。



▲選定された教科書

地域での就労困難者支援 どう考えるか

柳川 英司 議員

質問 就労意欲はあっても働けない中高年の再雇用問題、乳幼児の保育問題等の就労阻害要因を取り除くためには、市行政の総合力が必要である。働くことは収入確保だけではなく社会参加や自己実現、健康な体や精神を養う上で重要である。就労困難者支援行政の見解を伺いたい。

市長 現在、市はハローワーク青梅等と、若年層を対象にセミナーカウンセリングを開催、生活保護及び住居手当等受給者にはハローワーク

と連携し支援をしている。一層充実することが必要と考え、まずは就職面接会の回数を増やしていきたい。



▲若年者就職面接会

防災行政無線の難聴対策として戸別受信機の設置は

杉山 行男 議員

質問 デジタル化しても聞こえないという市民の声が多くあり、難聴地域が解消したとは思えないが、現状は。また、戸別受信機を特定の人に貸与しているが、この受信機を難聴地域の人に貸与する考えは。

市長 音声ガイダンスに電話いただければ直近の放送が聞けるので、利用方法について広報等で周知を図っていききたい。また戸別受信機は市議会議員等と、聴覚障害者に文字表示付き戸別受信機を貸与している

が、今後は土砂災害特別警戒区域等に該当する世帯への貸与について検討していききたい。



▲防災行政無線

選ばれ続けるまちとして総合特区制度活用への考えは

清水 義朋 議員

質問 平成23年6月に成立した総合特区法案は税制や財政支援を有することが特徴で、我が市でも大いに活用すべきであると思うが、制度活用についての見解は。

市長 人口減少に対応するために魅力あるまちづくりを進めており、その実現のために使えるツールではないかと考えている。教育、子育て、住宅、雇用、情報などの分野で特色ある施策の実施にあたり規制や障害があれば特区制度で排除することが

可能となるので、研究会を立ち上げて共通認識を持ち、さらに研究を進めていきたい。



▲「シティセールス推進の基本方針」表紙

まちなかおもてなし事業で買い物弱者対策は進むのか

大野 悦子 議員

質問 24年1月オープン予定の次世代モビリティ活用モデル事業の拠点「まちなかおもてなしステーション」で、電気自動車を活用した買い物代行サービスを行う。高齢者等の買い物難民対策が一気に進むものと期待をしているが、事業内容は。

市長 この「ステーション」において観光案内、電気自動車と電動アシスト自転車のシェアリングの実施実験に加えて、また電気自動車を活用し、高齢者等、日常買い物に困っ

ている市民が利用者となる、新たな「らくらく お買物代行サービス」の実証実験を行うべく進めている。



▲「まちなかおもてなしステーション」オープニングセレモニー

窓口業務における市民からの苦情やトラブルへの対応は

岩崎 百合子 議員

質問 窓口業務に対して市民からさまざまな苦情があるようだが、職員に非があるわけではなく、質問でも相談でもなく、苦情でもないトラブルをどのように把握しているか、職員の接遇研修の頻度、何人に対応しているかなどを伺いたい。

市長 職員の接遇に問題がある場合もあるが、市民が思いどおりにならない、説明に対する不満があるなどでトラブルが発生しているのは事実で、原則職員2名で対応している。課内ミー

ティングや定期的な研修の充実に努め、窓口対応のスキルアップを図っていきたい。



▲「福生市職員接遇マニュアル」表紙

視聴覚機材の整備状況は

原田 剛 議員

質問 教育現場では、各小中学校の教室には50インチのテレビが設置され、実物投影機やワイヤレスペンタブレットなどの視聴覚機材も整備されてきた。視聴覚機材の使用は児童生徒に興味・関心を持たせ、効率の良い授業が可能となったが、現在の設置・使用状況はどうか。

教育長 実物投影機は小学校7台、中学校6台、ワイヤレスペンタブレットは各小中学校に6台配備し、指導場面では効果的な活用をしてい

る。授業用ノートパソコンは各小中学校に4台で活用頻度はそれほど多くない状態なので研修機会を確保する。



▲教育教材(実物投影機)

新年度予算編成について・基本方針と主な施策への取り組みは

田村 正秋 議員

質問 厳しい景気により市税の減少が続く中で、基地交付金やさまざまな補助金の確保に市長みずから努力されているようだが、このような中での新年度予算編成の基本方針と主な施策への取り組みは。

市長 重点的、効果的な予算配分、基金の取り崩しや借り入れの抑制、歳入の確保、既存事業の精査、効果的な予算配分を基本方針とし、主な施策は災害時における要援護者システムの導入、消防団装備の充実や災

害に強いまちづくり事業、国民体育大会に向けたリハーサル事業、新たな牛浜駅の完成などである。



▲東京国体ポスター

だれでもどこでも放射線測定ができ事実をつかめる体制整備を

阿南 育子 議員

質問 放出された放射性物質の状態を把握したい市民の気持ちは当然であり、空間線量の測定器貸し出しも含め、畑の土壌や食品など測定できる環境や検査体制を整えていく必要があると思うがどうか。

市長 空間線量等は、さまざまな箇所職員が測定しており機器を貸し出す余裕はないが、測定箇所を充実し速やかに知らせていきたい。文科省、都も新たにモニタリングポストを設置するので、大幅に強化される。食品を測

定できる場所は課題があり、費用対効果等から設置しないが、土壌は測定し公表している。



▲放射線量の測定

認可保育所運営について運営費の支弁状況等は

大野 聡 議員

質問 民間保育園に支弁している運営費の内容と今後の見直し等の検討について、また、保育料の収納率向上対策等について伺いたい。

市長 保育所の設備や運営について児童福祉法で定める最低基準を維持するために国・市基準額を支弁している。当市では公費負担の割合が高いため、適正なのか今後調査していきたい。収納率向上対策としては、子ども育成職員に吏員証を発行して財産調査や差押え等を行うが、低所得者への配慮も

必要だと考えている。滞納者には園を通して督促状等を配付し、徴収促進を行っているが、なお一層努力する。



▲すみれ保育園

地域猫制度について今後大胆に取り組む考えは

奥富 喜一 議員

質問 猫制度は地域猫の会の方々の活躍で大分改善されたところもあるが、多くはまだ進んでいないのが現状で、現在の取り組み状況と、今後大胆に取り組む考えはないか伺いたい。

市長 今年度は、46匹の不妊去勢手術を行いモデル地区に戻しているにもかかわらず、市内からの苦情が耐えない状況で、小さい単位の隣組での取り組みも可能としたが、活動には賛否両論があり、なかなか進

んでいない。今後は市民の協力により人と猫の調和のとれたまちづくりを目指していきたい。



▲捕獲した地域猫

防災計画に女性視点のきめ細やかな対応はどのように

五十嵐 みさ 議員

質問 私たちの調査で阪神淡路大震災を経ても東日本大震災に、女性や災害弱者等の視点で避難所整備や運営、防災計画に反映させる教訓が生かされていない実態が浮かび上がった。当市における防災会議等への女性参画の現状と、災害弱者の意見はどう反映されているのか伺いたい。

市長 防災会議委員は27名です。全員男性で、災害弱者の意見反映については、災害時要援護者の安全確保のため社会福祉施設、民間福祉団

体等の相互連携に努め、地域ぐるみの支援体制づくりと共に災害時要援護者登録制度の充実を図っていきたい。



▲福生市防災マップ

各種予防ワクチン任意接種について来年度以降の費用助成の考えは

青海 俊伯 議員

質問 国の制度いかにかわらず本助成事業が市民の健康増進に大いに寄与する施策であるという観点から継続すべきであると考えているが、市長の所見を伺いたい。

市長 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの3種類は疾病予防に有効と認識しており、全体の事業費は約4100万円となるが、大切な子どもたちを守るため24年度も実施する予定である。また子宮頸がん予防ワクチンは、24年

度に限り中学1年生から17歳相当の女子も対象としたと考えている。



認知症の方と家族を支えるまちづくりの取り組みは

堀 雄一郎 議員

質問 市内高齢者にも認知症の方が増えている。施設入所は認知症を悪化させる傾向が見られるにも関わらず、在宅で対応できず、やむを得ず家族が施設入所を希望する場合も多い。認知症をサポートする体制の取り組み状況はどうか。

市長 地域で見守るために認知症を理解し、また医療と介護の連携や本人・家族への支援が必要なので、職員に認知症サポーター研修、市民には養成講座を開催し、「認知症サ

ポーター」養成研修等で医療・介護連携を図り、家族とケアマネジャーの連携強化を支援していきたい。



▲認知症サポーターのオレンジリング

議会の動き

「議員研修会(講演会) 野村稔氏」

平成24年1月13日に、元全国都道府県議会議長会理事調査部長を務められた、現在議会運営の第一人者である野村稔先生をお招きして、「地方議会の底力」と題する講演会を開催しました。

「研修内容」

地方分権の進展に伴い、地域発展のために地方議会の果たすべき役割が従来にもまして重要になってきました。

当市議会でも、開かれた議会を目指すべく、平成18年から議会改革検討協議会を設置して、改革すべき課題について活発な議論、検討がされ、議会の活性化に向けて多くの改善がされてきたところです。

そのような中、さらなる改革に向けて、議会運営に精通している野村稔氏を招いて、地方議会の果たすべき役割、議会の活性化に向けてどのような点を改革してい

たらよいか、また最近注目されている議会改革についてのお話等の講演をしていただき、その後第2部として、当市議会の議員からの質問事項について、先生のお考えを伺いました。

市議会ホームページが変わりました

市公式ホームページのリニューアルに伴い、市議会ホームページを再構成しました。

○必要な情報にアクセスしやすいよう、分類を見直し情報を整理しました。

講演では、地方議会の重要な役割は、市の行政を公平にチェックしていく監視機関であること、また住民の声(要望、意見)を議会の提言等によって行政に反映させていく大切な機関でもあることなど、議会の現場に即した有意義なお話をいただきました。



○議長公務日誌、議長交際費、政務調査費、行政視察報告など新たな情報を追加しました。

市民に開かれた分かりやすい議会を目指して、今後も積極的に情報発信していきます。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデージー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

また、ホームページにも、音声ファイルを掲載しています。

議会事務局 ☎042-551-1523

○デージー(DAISY)とは

デジタル録音図書国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたと思います。

「市民に開かれた分かりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

次回定例会のお知らせ

平成24年第1回定例会は、2月28日(火)から3月27日(火)までを予定しています。

◆本会議(予定)

2月28日(火)～3月2日(金)及び3月27日(火)
午前10時開会

◆予算審査特別委員会(予定)

3月6日(火)～9日(金)
午前9時開会

◆常任委員会(予定)

3月13日(火)～15日(木)
午前10時開会



平成23年 第4回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

| 通告者 | 質問内容 | 通告者 | 質問内容 |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 串田 金八 (一括) | 1 平成24年度の予算編成について (1)予算編成に向けての基本的な考え方・施策について (2)総合計画について (3)財源確保について 2 航空自衛隊横田基地について (1)在日米軍再編計画から移駐に至る経緯について (2)航空自衛隊横田基地の全貌について (3)航空自衛隊横田基地と福生市の関わりについて | ⑪ 大野 聡 (併用) | 1 保育行政について (1)認可保育所の運営等及び認定こども園について 2 安全安心なまちづくり行政について (1)市営自転車駐車場の利用状況と今後の整備方針(見直しを含め)について (2)市内駅周辺の民間駐輪場の現状と利用実態について (3)駅前放置自転車の現状と今後の対策について 3 公園行政について (1)市内の公園(緑地含む)の維持管理対策の現状と今後の整備方針について (2)かに坂公園の拡張(西側)と周辺整備について (3)福生駅周辺(西口)への公園整備について |
| ② 町田 成司 (一問一答) | 1 商業振興策について (1)市内商店街の振興策について用途地域(商業地区)を含め、将来的、長期的に行政として、どのように考えているか (2)地域産業振興条例について 2 七夕まつりについて (1)七夕まつりの開催目的について (2)七夕まつり実行委員会組織について | ⑫ 杉山 行男 (併用) | 1 防災対策について (1)防災行政無線の難聴地域解消について (2)防災情報発信について (3)災害時公衆電話の計画的設置について (4)避難場所について 2 市民活動団体の支援等の現状について (1)市民活動団体の支援等の現状について |
| ③ 柳川 英司 (一括) | 1 地域雇用対策と就労支援について (1)雇用情勢の現状と対策の促進について (2)地域就労支援について 2 福生市の商業と商店街振興について (1)地域商業、商店街、行政の現状と課題の取り組みについて (2)地域商業と商店街の活性化について | ⑬ 大野 悦子 (一括) | 1 東日本大震災時の原発事故後の放射能情報について (1)事故の状況と放射能情報について (2)市民への情報提供について 2 次世代モビリティ活用モデル事業について (1)事業の詳しい内容について (2)カーシェアリングについて 3 まちなかおもてなし事業について (1)事業の詳しい内容について |
| ④ 池田 公三 (一問一答) | 1 安心・安全のまちづくりについて (1)雨どいや側溝などの放射能除染対策について (2)地産地消のエネルギー開発について 2 学校教育について (1)中学校給食について (2)学校における労働安全衛生管理体制の整備について 3 若者のためのスケートボード場の整備について | ⑭ 原田 剛 (併用) | 1 交通安全について (1)市内の交通事故・自転車事故状況について (2)自転車の通行環境について (3)ルールの周知と安全教育の推進について 2 健康増進について (1)健診受診率について (2)ウォーキングとラジオ体操について 3 教育行政について (1)視聴覚機材の整備・取扱いについて (2)視聴覚教材について |
| ⑤ 乙津 豊彦 (併用) | 1 人口誘導のまちづくりについて (1)住宅マスタープランについて (2)積極的な人口誘導について 2 道路行政について (1)五日市街道拡幅事業、踏切に信号機を設置する事業の状況について (2)狭あい道路の拡幅整備について 3 福生市ホームページのリニューアルについて (1)目的と移行方針について (2)継続性の確保について | ⑮ 阿南 育子 (一問一答) | 1 放射線対策について (1)測定環境の整備について 2 多文化共生のまちづくりについて (1)現状の取り組みについて (2)日本語未習得者への教育環境の整備について 3 給食センター建設について (1)検討の進捗状況について (2)中学校給食導入への検討について |
| ⑥ 武藤 政義 (一括) | 1 シティセールスについて (1)目指すべき方向について (2)現在の取り組み状況と今後について 2 青少年海外派遣事業について (1)意義、目的について (2)効果について | ⑯ 五十嵐 みさ (一括) | 1 女性の視点からの防災について (1)きめ細やかな対応をするための防災計画について (2)避難所運営ゲーム(HUG)の導入について (3)ハード面としての避難所や防災備蓄庫の整備と管理について (4)災害弱者としての外国人への災害時の情報伝達について 2 デイジー教科書について (1)福生市でのデイジー教科書の導入について |
| ⑦ 末次 和夫 (併用) | 1 歴史・公民の福生市公立中学校教科用図書の選定、採択について (1)教科用図書調査委員会について (2)教科用図書の特別展示及び法定展示会について (3)教科用図書選定協議会について (4)教育委員会臨時会について (5)調査報告書及び選定協議会答申における育鵬社、自由社の公民教科用図書の「思想的な偏り」評価について (6)選定、採択に係る課題について | ⑰ 堀 雄一朗 (併用) | 1 都市基盤整備について (1)都市計画マスタープランについて (2)用途地域の見直しについて 2 起業支援(インキュベート)事業について 3 認知症の人と家族を支えるまちづくりについて 4 障がいのある人のデイサービスと雇用について |
| ⑧ 清水 義朋 (一括) | 1 選ばれ続けるまちについて (1)総合特区について 2 清潔で美しいまちづくりについて (1)ここまでの取り組みについて (2)今後の取り組みについて | ⑱ 奥富 喜一 (一問一答) | 1 米軍横田基地について (1)航空総隊司令部移駐関連工事の進捗状況について (2)航空自衛隊横田基地の任務などについて (3)日米共同演習「ヤマサクラ61」について他 2 地域公共交通について (1)地域公共交通会議について (2)交通不便地域の定義の認識について (3)コミュニティバスの課題やあり方について 3 公共施設の活用について 4 地域猫制度について |
| ⑨ 岩崎 百合子 (一括) | 1 苦情対応について (1)苦情対応の現状について (2)庁舎内の警備について | ⑲ 青海 俊伯 (一括) | 1 各種予防ワクチン任意接種費用の助成について (1)現状の接種状況と費用助成について (2)来年度以降の費用助成について 2 中学校ランチルームの地域活用と給食センターについて (1)ランチルームの利用と地域活用の現状について (2)現給食センターの建替えについて 3 自動販売機等の税外収入について (1)公共施設の自動販売機設置基準、入札などについて (2)その他税外収入の取り組みについて (3)税外収入と会計の透明性・明瞭性について |
| ⑩ 田村 正秋 (一括) | 1 新年度市予算編成等について (1)基本方針と主な施策について (2)財源確保と新たな歳入等について 2 土木行政について (1)加美平公園内へのランニングコースの設置について 3 教育行政について (1)不登校対策について (2)小・中学校の雨水の処理について | | |

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情等の審査が12月6日、7日、8日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。また、災害に強いまちづくり特別委員会及び横田基地対策特別委員会が12月9日に行われました。ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

12月6日に委員会が開催され、議案2件と陳情2件の審査を行い、議案2件は原案のとおり可決、認定し、陳情は1件が採択、1件は不採択となりました。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 次世代モビリティ活用モデル事業費の内容は。

答 自転車駐車場のPR看板費で、一つは拝島駅北口自転車駐車場外壁に、また、福生駅東西階段踊り場上部に設置予定の案内看板の費用である。

問 中小企業振興資金貸付事業費243万4千円の内容は。



▲認定市道路線を視察

答 東日本大震災後、融資の申し込みが増加し、当初予定を上回ることで予想され、利子補給金と信用保証協会保証料の不充足見込分を増額した。

◎地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出すること

意見 消費生活における苦情相談等の増大に伴う消費者保護の観点から、消費者行政の充実及び消費者相談員の待遇改善に向けた制度の整備が必要との意見があり、採決の結果、採択されました。

◎西多摩衛生組合への陳情書の適正な審査とフレシユランドの安全性確認を求める陳情書

意見 2名の委員より福生市議会が特別地方公共団体に意見を述べるのは好ましくないとの意見が

315万円である。

◎市道路線の認定について

問 市道との比較で、私道の不都合は何か。

答 基本的に、通り抜けできる道路は所有者の寄附により市道となるが、行き止まりの道路は寄附を受け取らず、私道とすることにしている。私道は個人の所有であることから、維持管理も個人ですることに、市道は市で管理することになる。また、今回の市道第334号線は行き止まりの道路だが、奥の緑地も併せての寄附であり、緑地を管理するための道路として、市道の認定をした。

市民厚生委員会

あり、採決の結果、不採択となりました。

◎平成23年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 国民健康保険資格証の発行基準はどうなっているか。予算総額が大幅に増えるが、一般会計からの繰入金はどうなるか。

答 資格証は、現在短期証で、平成20年度3期以前に滞納があり、平成21年4月1日以降で2年間納付が全くない。平成23年度市民税未申告、または課税標準所得が145万円以上の世帯という全てが該当する方に発行する。

繰入金金は、22年度の最終予算総額から7億1667万2千円増、補正予算後の予算総額で11・6%増となり、2億4548万3千円増となる。



▲子ども家庭支援センターのふれあいひろば

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)

問 家庭児童相談システム導入の効果は。

答 子ども手当支給システム改良の内容はどういうものか。

答 子ども家庭支援センターの相談内容管理、ケース記録等を入力し、都府県等に報告する作業を簡素化、訪問等相談業務の充実を図る。子ども手当支給システム改良は、24年の6月以降所得制限対応とすため、新しい基幹システムへ移行する。

◎福生市児童館等施設の指定管理者の指定について

問 児童館、学童の指定管理延長に当たっての審査の経緯と、今後の新規事業計画は。

総務文教委員会

答 事業者が変わるより、延長するメリットの方が大きいと判断した。新規事業については、中・高校生ボランティア養成講座、児童館のクラブ交流などの実施提案がある。

以上4件、いずれも原案のとおり可決しました。陳情2件についても意見が出されましたが、引き続き継続して審査していくこととなりました。

12月8日に委員会が開催され、議案2件と陳情2件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市都市計画条例の一部を改正する条例

問 都市計画税の充当率の考え方は。

答 制限税率(0・3%)以内の税率は、国や東京都から示されているわけではないが都市計画事業の状況、財政状況により各自自治体の裁量に任されている。

問 新規の事業のほか、街路や公園、下水道などのメンテナンスなどに使うことあるのか。

答 メンテナンスも充当先として考えている。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 家具転倒防止器具助



▲家具転倒防止器具

成事業は、この補正でどのくらいの世帯になるのか。

答 平成21年度当初、3カ年で全世帯の5%、約1320世帯を目標としていたが、補正予算承認後は全世帯の9・5%、約2800世帯ぐらいまでいくと考えている。

問 臨時財政対策債を1億円増額ということだが、財政調整基金を取り崩さなかった理由は。

答 大震災後の考え方で、財政調整基金は緊急時、市民の安全安心を確保するためにもある程度の額は必要。市の借金も、毎年全国で5億円ほど減っている状況。金利負担の少ない時期もあるので臨時財政対策債を増額した。

問 消防団員の共済負担金が大きく増えているが。

答 東日本大震災による消防団員の死者、行方不明者のほとんどが公務中であり、平成23年度に限り公務災害補償の確実な実施を確保することによ

る掛け金の増額。

◎米軍普天飛行場移設に関する日米共同発表の見直しを求める意見書を日本政府に提出することを求める陳情書

意見 この問題は安全保障にかかわる重要な事項であり、防衛と外交は国の基本である。国と国との約束である日米合意を尊重し不採択とされたい。

意見 この陳情は基地のない沖縄をつくりたいという願いであり、福生に住む人間として基地のない福生を早く実現したいという思いで共通している。日米共同発表の見直しを求める意見書なので採択されたい。

以上の意見が出され、採決の結果、不採択となりました。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。



常任委員会 行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため委員会等の視察を行っています。

今回は、3常任委員会が先進地の視察を行いました。

※行政視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

建設環境委員会

視察目的 ①歩く旅のまちづくり事業及びたまり駅事業について
②コンパクトシティの計画と実践について

視察先 ①新潟県新発田市
②山形県鶴岡市
視察日 平成23年10月4日(火)～5日(水)



▲鶴岡市を視察

①市街地に点在する歴史資源や観光資源を体系的に統合し、商店街と観光施設を結ぶお休み処「たまり駅」を設け、歩く旅のルートを設定することで回遊性を高め、観光客の増加

くても一緒に過ごすことで、心のバリアフリーが実現していました。



▲松本市を視察

②松本市では、平成9年から、信州大学との共同事業として、「熟年体育大学」を実施、市民が生涯健康で過ごせるように日頃の生活習慣を見直し、運動の大切さを学ぶ機会を提供しています。日頃、運動の機会が少なかつた方に、運動のキッカケづくりを提供すること、受講者の血圧等の数値が改善、卒業生の自発的活動も広がっていました。

視察を通して「市民の健康寿命を伸ばす取り組み」の先進事例を確認、具体的な事業のあり方を学びました。

市民厚生委員会

視察目的 ①富山型デイサービスについて
②松本市熟年体育大学について

視察先 ①富山県富山市
②長野県松本市
視察日 平成23年10月18日(火)～19日(水)

①富山市では通所介護事業所等で、在宅障害者(児)がデイサービスを受けられるようになっています。小規模の事業所が身近にあることの利便性に加え、「お年寄り」「障がい者」「子ども」と仕切るのではなく、障がいがあってもな

総務文教委員会

視察目的 ①聖籠中学校の特色ある取り組みについて
②長岡市の防災行政について

視察先 ①新潟県聖籠町
②新潟県長岡市
視察日 平成23年10月24日(月)～25日(火)

①聖籠中学校は、学校統合をきっかけに、教科ごとに教室を移る「教科センター方式」の採用とともに、ICT教育の推進をスクリーンオープンネットワークという形で実現を図った。教科センター方式では教員は必要な資機材を移動させることがなく、また隣接するスペースには関連図書、インターネットに接続可能なパソコンも用意されており効果的な学習を図ることが可能となっている。



▲長岡市を視察

②長岡市の防災対策は、新潟中越地震をはじめ、水害、雪害等の被害を受けられている長岡市では、各種災害対応のマニュアルを作成するとともに、市民向けには災害ごとに分冊化するなど、非常に参考となる対応がされている。併せて、中越市民防災安全大学を開校し地域の防災リーダーを多くつくることなど、災害発生直後の時間帯での対応が大変重要であることを学びました。

特別委員会活動だより

災害に強いまちづくり 特別委員会

12月9日に委員会が開催されました。

◎この間の福生市の取り組みについて

はじめに、前回の委員会以降、市として取り組んできたことについて理事者から報告がありました。

①自主防災組織マニュアルを再検討しました。
②シナリオのない防災訓練について消防署と協議しました。

③地域防災計画の見直しに向けて庁内にワーキングチームを作りました。
④公民館の集いで、防災対策について市民と意見交換しました。

◎自主防災組織の充実・強化について

前回の委員会に引き続き、福生市において最も想定される大地震による災害にしばり、重要な役割が期待される自主防災組織について、具体的に状況を想定し、災害発生1日目をシミュレーションしながら検討しました。

①地域医療機関との連携
②自助・公助の情報をどう作り伝達するか
③自助
避難・救助 消火・家族の安全確認 非常持ち出し
④共助
ご近所救助・要援護者介助・近所の安否確認

◎各自自主防災組織
安否確認・連絡 調達・救護 避難所の台所 二時避難場所へ避難または代表派遣(情報 食料)

◎災害用備蓄倉庫や自主防災倉庫の管理
⑦避難所の運営

次回は、自主防災組織について、さらに災害発生2日目、3日目をシミュレーションしながら検討します。

横田基地対策 特別委員会

12月9日に開催され、次の案件を討議しました。
◎東京都が実施した航空機騒音調査結果について

この調査結果は平成22年度の調査結果であり、直近の数値は出ないのか等の質問がありました。福生市の測定数値はホームページに公開しているが、その資料も提示して欲しいとの要望があり、次回の委員会で説明することになりました。

基地内に保管されている放射性廃棄物について、横田基地消防隊所属の消防車が福島県ドレレッジに保管されていることと全国の米軍基地での保管状況の報告を受けました。

◎特定防衛施設周辺整備
調整交付金について
平成23年度の交付額が確定し、金額は3億6074万4千円で、前年度との比較では7381万2千円の増額となります。



▲自衛隊横田基地のメインゲート(第5ゲート)

◎5市1町による総合要請について
「横田基地周辺市町基地対策連絡会」の5市1町による総合要請の内容について説明を受けました。

◎航空総隊司令部等の移駐状況について
移駐関連工事については、隊舎・将官宿舎が今年度の完成、通信線路整備工事は24年6月完成予定とのことです。隊員の移転は順次実施されており、今年度中に完了する予定とのことです。

◎横田基地に関する事件、事故等について
10月27日に調布飛行場に予防着陸したヘリコプターは、飛行中に警告ランプが点灯したため、安全を第一に考えての着陸だったとのこと。

基地内に保管されている放射性廃棄物について、ホームページがリニューアルしたことから行政視察報告書に載せることになりました。昨年10月に各常任委員会で行った行政視察を行いました。その報告書から対象になり、議長交際費とともに公表しています。どうぞご覧ください。

◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。



編集後記

平成23年最後の定例会が12月16日に閉会となりました。今定例会では19名の議員(議長を除く全員)が一般質問を行いました。議員は6万市民からの負託を受け議会で発言することになります。◆中でも一般質問はどのような行政課題に対して市長や教育長に質問し、要望することが出来ます。市民目線に立った質問を心がけていますが、そのための準備も大変です。閉会中であっても調査・研究に取り組んでいます。◆第3次議会改革も検討が続けられています。全員で構成する検討協議会を閉会中も開催し、できることはすぐにでも実行に移します。◆市議会のホームページがリニューアルしたことから行政視察報告書に載せることになりました。昨年10月に各常任委員会で行った行政視察を行いました。その報告書から対象になり、議長交際費とともに公表しています。どうぞご覧ください。◆この冬、皆既月食、ふたご座流星群など天体ショーも体験しました。自然の力には及びませんが、市民の皆さまに分かりやすい議会を目指して頑張っています。